



奈良県版

No. 377

2024年6月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部

〒630-8213 奈良県
奈良市登大路町5-5
奈良県教育会館内
☎ 0742-27-8640
振替 0990-2-209460

われわれの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
 - 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
 - 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

国会請願行動で

団体41筆、個人2、405筆の

国賠署名を提出

奈良県本部長 加藤宣之

2024年度の国会請願行動は5月15日、午前11時から東京都永田町の衆議院第一議員会館大会議室で行われ、全国各県の同盟から140名が参加し、奈良県から伊藤恵美子事務局長と私加藤宣之の2名が代表派遣され、この日奈良県同盟で集めた団体署名41筆、個人署名2、405筆を国会に提出しました。

集会は主催者のあいさつに始まり、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組、沖縄の風に所属する国会議員からの激励あいさつ、北海道旭川から参加された102歳の治安維持法犠牲者菱谷良一さんが車椅子で国会請願行動に参加され、参加者全員を激励しました。

午後からは各県の代表団が地元選出の国会議員の控室を訪問し、500筆ごとに袋とじされた署名簿をもって紹介議員になつていただけるよう要請活動を行いました。

奈良県代表団は国賠同盟副会長の岩下美佐子さんと3名で馬淵澄夫衆議院議員、高市早苗衆議院議員、田野瀬太道衆議院議員、佐藤啓参議院議員、堀井巖参議院議員5名の控室を訪問し、署名の紹介議員要請を行いました。

控室では議員自身はいずれも不在でしたが、各秘書が対応、500筆の署名簿は預からず、後日連絡で自民党をはじめいずれの議員も紹介議員になれないと回答してきました。

今回の国会請願行動でも、奈良選出の議員は紹介議員になつてもらえませんでした。この事態を多くの国民に知らせていきましよう。市民と野党の共闘で自公政権とそれに追従する勢力に勝利し、改めて国家賠償法の制定にむけ、粘り強くたたかって行きましよう。

国会請願行動に参加

県本部事務局長 伊藤恵美子

国賠署名の国会請願行動に、加藤会長とともに参加しました。

今回で2度目なのですが、昨年はアクシデントがあり、衆議院会館の中にいるのに会場には入れず、後半しか参加できませんでした。今回は最初から参加できました。

治安維持法犠牲者の画家、菱田良一画伯は実にかくしゃくのごあいさつをされておられました。しかし、菱田画伯の102歳というお年にあらためて犠牲者の方々の受けた深い深い傷痕を胸にききました。同時に、102歳というお年に対し、何の謝罪もなく、私たちがお渡ししようとする署名にいちべつもない政府の罪の深さに強いいきどおりを感じました。

今年も、奈良県選出の国会議員は誰一人紹介議員にはなってもらえませんでした。1日も早く、紹介議員になってくれるような平和や憲法を大切にする国会議員が奈良から選出されてほしいです。

来年は、さらに署名数を大幅に増やして参加したいと思っています。



全国から400名が参加した
衆議院第1議員会館大会議室

102歳の菱田良一画伯の訴え



5月の風について

「なら国賠ミモザ」のスタート

県本部理事 杉下ゆき子

5月11日(土)14時〜16時に「エルトピア奈良」にて、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟(以下国賠同盟)奈良県本部の女性グループが、みんなで話し合って決めた「なら国賠ミモザ」として、新たに再スタートの会を持ちました。30人の方が参加して下さいました。

記念講演は、国賠同盟中央本部副会長であり、同国際部長でもある、かつらぎ市在住の岩下美佐子さんが、「治安維持法犠牲者から受け継ぐ私たちの『#Me Too』と題して、熱く語って下さいました。以前観た、伊藤千代子さんの映画のように、戦前に女性の逮捕者が刑務所で受けた拷問のひどさは、聞くだけでも辛いです。忘れてはいけないと改めて思いました。

現在は、「#Me Too」運動や、

LGBTQの運動も広がりましたが、もともと日本の女性が声を上げないといけないですね。

意見交流の後、全員で歌った「タンポポ」の歌がとっても素敵でした。

今回の集会の開催にあたっては、理事会とは別に打ち合わせ会を持ち、誰に声をかけるか分担したり、当日の準備に抜かりがないか相談したりしました。今までの婦人部のような豪華な食事付きの会はできないのが残念ですが、次回もよく学び、楽しく歌いながら、「なら国賠ミモザ」を続けていきたいと思えます。

力強く胸にひびく記念講演

県本部常任理事

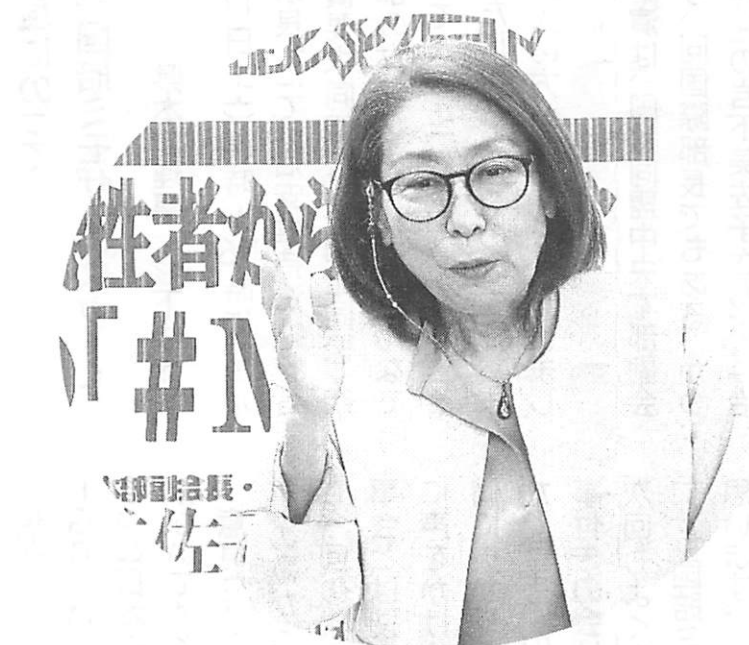
田中澄江

(過去に目を閉ざすものは、現在にも盲目となる「ワイゼッカー」)

日本において、(世界の)なぜ人権の風が吹かないのか… 岩下さんのお話

はドンピシャりに私の心に飛び込んできた。これに尽きると感じる。戦前社会は侵略戦争へ向けて治安維持法を制定。平和主義者(共産党)の撲滅を目的に秘密警察組織、特別高等警察(特高)が暗躍し弾圧した。一方で封建社会において女性は男性優位の無権利状況が続いていた。治安維持法下で検挙されれば拷問の域を超えた性的虐待が行われる人間性の蹂躪だった。戦後数十年を経た今も、職種や家庭において女性には不当な位置にあり、セクハラやレイプはなくなっていない。再び戦争になれば戦時性の性暴力はまたもや武器となり火を吹くのはあきらかである。

女性が毅然と立ち、差別なく自由生きる権利を主張し続ける事は必要不可欠な事。普通に生きるとは、男女差や人種の差なく自由で平和に生きる事。と力強く語った岩下さんに再度拍手を贈りたい。



記念講演、岩下美佐子さんの話
は大好評。「もっと聞きたい」の
声が続出



身じろぎもせず熱心に聞き入る参加者のみなさん

大和郡山支部主催

山本宣治没後95年DVD「武器なき斗い」鑑賞会

19名の参加で成功裡に終わる

県本部常任理事

杉本英雄

年金者組合郡山支部長藤垣全弘さん、国民救済会本部常任委員吉兼重雄さんにも呼びかけ人になってもらい、国賠同盟大和郡山支部としては久々の取り組みになった山本宣治のDVD「武器なき斗い」鑑賞会に平群町、天理市、大阪含め19名の方が参加されました。

鑑賞会の初めに山本宣治のプロフィールと奈良とのつながりを整理した資料には、三度来県された1927年(昭和2年)の記述は、立花春吉とのつながりを感じさせる資料にもなりました。



山 本 宣 治

治安維持法下で弾圧された労働者・農民運動の映像では、理不尽な歴史的事実というだけでなく、現在の専制的なロシア政府の市民弾圧のやり方や日本政府の経済安保情報保護法案を始めたとした戦争準備を思わせるような政策と重ね合わせながら見たとの感想もいただきました。140分の大変長い映画でしたが熱心に見ていただきました。



2024年5月11日(土)

郡山市民交流館にて



映画公開当時のポスター

自衛隊名簿提供違憲訴訟（R Y U裁判） 第1回口頭弁論と報告集会

7月2日火曜日

《第1回口頭弁論》 10:30～奈良地裁

●異例の1時間の原告弁護団による弁論

●77席の傍聴席を満席に!!

裁判所は満席を想定して抽選の準備をしています。



《報告集会》 11:40～13:30 教育会館4階大会議室

●弁護団の佐藤博文弁護士（北海道）によるミニ講演

「R Y U裁判における自衛隊論」（約30分）

●弁護団の報告

●意見交流

●支援する会からの報告と訴え

いよいよ歴史的な違憲訴訟が開廷！

「不屈」発送ボランティアさん 募集！

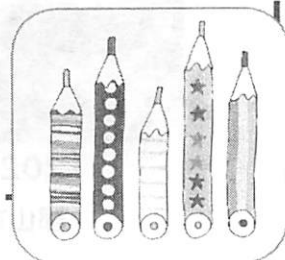
毎月10日～15日頃 朝10時～2時間

国賠機関誌「不屈」を発送する簡単な作業（折ったり、貼ったり）です。

おしゃべりをしながら楽しいひとときです。

ぜひご連絡をお待ちしています。

事務局 伊藤 090-8552-6800



季節の 言の葉

飽和なる箍^{たが}の緩みしこの様を
救える道は 一度下野せよ
テレビ報道の答弁にあきれ、
怒り、
思わず画面に向かって
叫んでしまう。
ずるく汚い裏金問題で、
国民を欺く、
そのもう一つ裏で、
戦争する国づくりを
着々とすすめる
この国の政権党。

治安維持法国賠同盟奈良県本部 5 月度現勢報告

2024・5・31現在

- ① 会員現勢 380名 [前月比増1、減1]
② 国賠署名 [2024年度国会請願最終集約数]
団体署名 41 [前月比増 1]
個人署名 2,405 [前月比増355]

川 柳

この夏は気温に勝る物価高騰
万博の熱気ががらずガス爆発
悪知恵が裏金止めよの邪魔をする

郡山支部 杉本英雄

風吹いて帽子と髪飛んで行く
酔っぱらい自業自得か溝はまる
蓮舫さん少しソフトでチャンスあり

奈良の愚僧

第36回国賠同盟奈良県本部総会
8月25日(日) 13:30~16:00
奈良市生涯学習センター
3F 学習室1.2.3

■記念講演 奈良県平和委員会理事長
河戸憲次郎 氏

詳細は次号にてお知らせ致します。

ぜひご参加を予定して頂きますようお願いいたします。

編 集 後 記

この号で「なら国賠ミモザ」の再スタートの催しが成功できたことをお知らせできたことはこの上ない喜びです。参加されたみなさんのいきいきした表情、「またこんな催しをやって下さい」との声、声。

ミモザのみなさんが何ヶ月もかけてコツコツ準備してきたことが花開いた結果です。みなさんの応援ありがとうございました。これからもがんばります。

さて、5月の取り組みの中で、憲法について本文の中で取り上げることができず申し訳ありません。私たちは、国民、市民の力でずっと憲法改悪を阻止してきました。敗戦後日本は軍隊を持たず、憲法9条を持つ新しい国に生まれ変わりました。ところがいま、この国は自衛隊が世界中で戦争できる、敵の領土まで攻撃できる、指揮権まで在日米軍と一体になっていく、そういう部隊に変えられてしまっています。経済安保の問題、学問、芸術などにも政府が介入してくる。憲法無視の政治がどんどん進もうとしています。

私たちは、これまで戦争しない国として憲法に守られてきました。いま私たちは、憲法改悪するような企てに反対し、憲法を守る責任を果たさなければいけないのではないのでしょうか。

憲法の前文は、日本中に自由と人権をもたらすために、そして二度と政府に戦争をさせないためにと憲法の目的をうたっています。世界に誇るこの憲法の理想に向けて連帯し、憲法を生かす政治を取り戻そうではありませんか。

E・I

開催時間
開催日

7月25日(木)
26日(金)
27日(土)
28日(日)

午前9時から午後5時

関連企画

25日(木)

11:00~12:00 体験談「戦中戦後、教師として生きて」武田佳代子さん

14:00~15:00 DVD「朗読劇・広島第二県女二年西組」劇団大阪

26日(金)

11:00~12:00 体験談「2歳の空襲体験」坪田恭代さん

13:30~14:15 DVD「証言・侵略戦争 人間から鬼へ、そして人間へ」

14:30~16:00 講演「いくさの少年期ー紙芝居とお話ー」寮美千子さん

27日(土)

11:00~11:30 DVD「23年10月ウクライナ」(西谷文和・取材)

11:40~12:10 DVD「24年3月イスラエル・エルサレム」(同上)

14:00~15:10 お話「ここに戦争があった」(奈良教育大学戦争遺構保存会)

28日(日)

13:00~14:30 ロビーコンサート「ピースフェスタ2024」

(フラダンス、フルート、沖縄舞踊、落語、コーラス等)

15:00~16:30 講演「紛争地から見る憲法9条」西谷文和さん

「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。」
(日本国憲法第九条)

繰り返すまい
人類の悲劇

第二九回(二〇二四年) 平和のための 奈良市戦争展



西谷文和のプロフィール

1960年京都市生まれ。吹田市役所勤務を経て、2004年末からフリージャーナリスト。主にアフガニスタン、ウクライナ、パレスチナなどの紛争地を取材し、テレビや新聞で現地情報を伝えている。「報道ステーション」、「大下容子ワイドスクランブル」など出演多数。著書に「ウクライナとアフガニスタン、この戦争の裏に何があるのか」(日本機関紙出版センター)「西谷流地球の歩き方上・下」(かもがわ出版)などがある。



ウクライナ・ヘルソンにて

●後援

奈良市

奈良市教育委員会
奈良新聞社

朝日新聞奈良総局
毎日新聞奈良支局

読売新聞奈良支局

55.6℃ Fx 78.4℃

会場・奈良市生涯学習センター
1Fギャラリー



市内循環バス
シャープ・白土・王寺方面行バス
高畑・春日大社本殿方面行バス
大森町下車
徒歩3分

主催 平和のための奈良市戦争展実行委員会 連絡先 090-3269-5368 (河戸)